



O M S O L A R H A N D B O O K

自立運転型ハンドリング操作説明書

# 使用上の注意

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。  
読み終わったら本書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管してください。



## 禁止

おこなってはいけない内容を告げるマークです。



## 感電

感電のおそれのある内容を告げるマークです。



## 分解禁止

分解してはいけない内容を告げるマークです。



## 注意

機器に損傷をあたえる恐れのあることを告げるマークです。

 	濡れた手でリモコンの操作をおこなわないでください。感電、故障の恐れがあります。
 	洗剤やシンナーを使つての清掃はおこなわないでください。リモコンの清掃は、乾いた布もしくは堅く絞った布等で軽く拭きとる程度でおこなってください。塗装面の劣化や感電、故障の恐れ等があります。
 	お客様自身では、分解、修理、改造はおこなわないでください。ショート、感電、誤作動の恐れがあります。
  	水をかけたり、ものや体をぶつけないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。
	とがったものや硬いもので操作しないでください。穴が開いて故障の原因になります。
	小さなお子様のいるお宅では、いたずらに注意してください。誤作動による事故や故障の原因になる恐れがあります。
 	塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。
	油煙や湯気をあてないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。
	冬季に「夏」を選択しないでください。凍結によりお湯採りコイルが破損する恐れがあります。

本書の他に、タイマー付室内サーモスタットや貯湯槽などの各取扱説明書をご参照ください。

OMソーラーのしくみ			4
リモコンの機能と名称	5	OMソーラーの運転パターン	6
温度表示の切替	7	自動運転と手動運転について	8
自動運転の設定			10
手動運転の設定			12
手動運転時の設定温度と運転パターン	13	夜間風量切替スイッチについて	14
補助暖房（オプション）	15	追加機能いろいろ（オプション）	16
異常表示について	17	リセット	18
故障かな？と思ったら	19	ディップスイッチについて	20
自立運転型ハンドリング基本仕様	21		

太陽電池を用いないタイプを設置のお客様へ

自立運転型ハンドリングには太陽電池を用いるタイプと、用いないタイプがあります。太陽電池の有無にかかわらず操作・制御は同じのため、本書では太陽電池の働き、仕様について説明している箇所が一部あります。あらかじめご了承ください。

# OMソーラーのしくみ

## ガラス付き集熱面

ガラスなし集熱面を通してきた空気をさらに温めます。

## ガラスなし集熱面

取り入れた空気を太陽熱によって温めます。

## 太陽電池

晴れた日に、ハンドリングへ太陽光発電により電気を供給します。

## 制御ユニット

リモコンや温度センサーからの信号を受けてハンドリングボックスをうごかします。

## 外気取入口

外気を取り入れる入口です。

## 集熱空気層

取り入れた外気がこの部分を通ることで温められます。

## 室内循環口

室内空気の取り入れ口です。

## 床吹出口

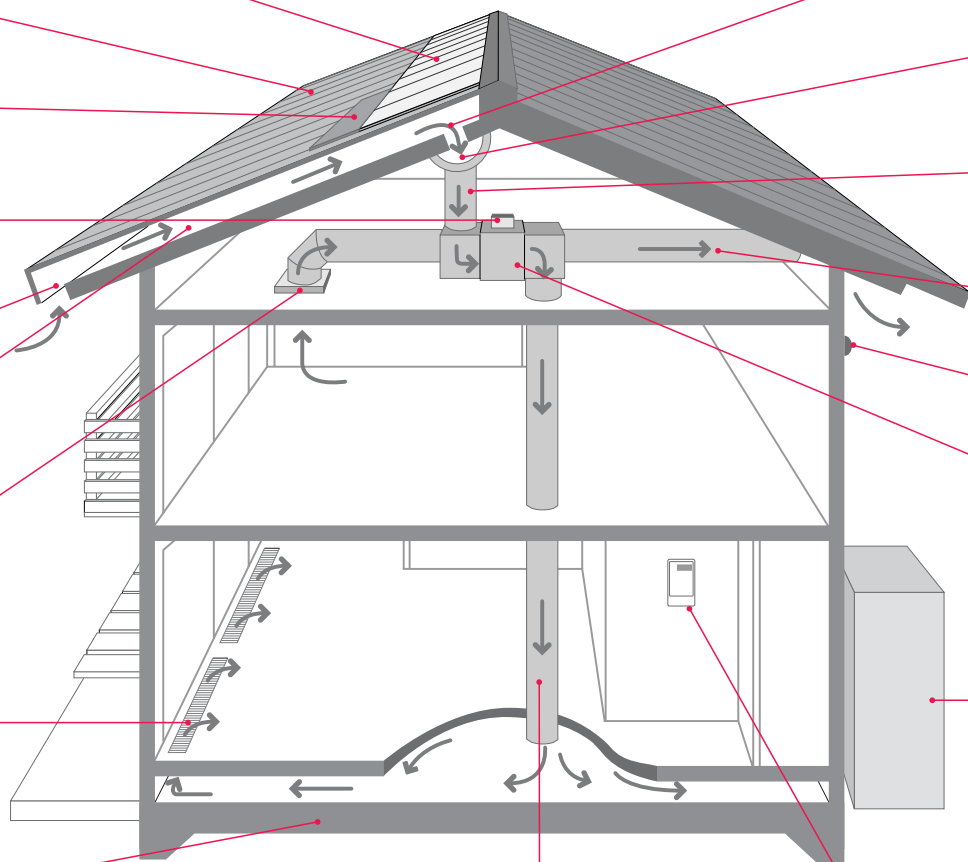
床下に送られた空気の出口です。

## 蓄熱コンクリート

昼に床下へ送られた熱を蓄えて、夜は自然に放熱します。

## 立ち下がりダクト

空気を床下へ送るための経路です。



※このイラストはモデル図であり、各部位の配置は実際には異なります。

**棟温センサー**

集熱面の棟近くの空気温度（棟温）を制御ユニットへ伝えます。

**棟ダクト**

集熱面の空気を集めてハンドリングボックスに運びます。

**お湯採り用  
高温センサー**

集熱空気と貯湯槽内の水の温度差を測り、お湯採りを運転します。

**排気ダクト**

集熱空気を室外へ排気するときの経路です。

**外気温センサー**

屋外の空気温度を制御ユニットへ伝えます。

**ハンドリングボックス**

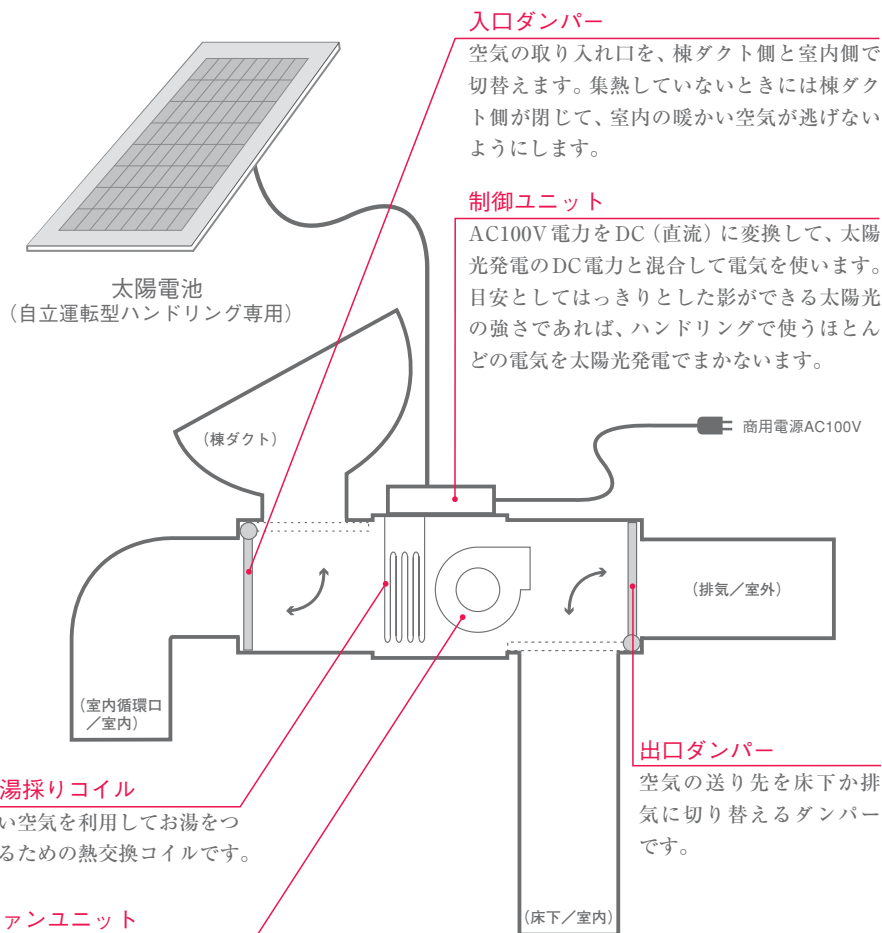
OMソーラーの心臓部。空気流れの切り替えや、送風をおこないます。

**貯湯槽（オプション）**

お湯採りしたお湯を貯めておくタンクとお湯採り循環ポンプです。

**リモコン**

OMソーラーの運転の設定や表示をおこないます。

**ハンドリングボックスのしくみ****入口ダンパー**

空気の取り入れ口を、棟ダクト側と室内側で切替えます。集熱していないときには棟ダクト側が閉じて、室内の暖かい空気が逃げないようにします。

**制御ユニット**

AC100V電力をDC（直流）に変換して、太陽光発電のDC電力と混合して電気を使います。目安としてははっきりとした影ができる太陽光の強さであれば、ハンドリングで使うほとんどの電気を太陽光発電でまかないます。

**お湯採りコイル**

熱い空気を利用してお湯をつくるための熱交換コイルです。

**ファンユニット**

DC（直流）電源で動く送風用のファンです。

**出口ダンパー**

空気の送り先を床下か排気に切り替えるダンパーです。

# リモコンの機能と名称

リモコンはOMソーラーを操作する機器です。各部の名前と機能を紹介します。

## 温度表示パネル

通常は温度表示。(3桁)  
異常時には異常表示  
左の緑ランプで温度種別を表示  
表示ボタンで表示切り替え

## 送風機ランプ/湯採ランプ

- 「緑」  
点灯で送風機(ファン)運転中  
点滅でダンパー動作中
- 「赤」  
点灯でお湯採り信号出力中
- 消灯で送風機とお湯採りの停止

## OM換気ランプ

- 「緑」点灯OMで換気中  
(換気停止を含む)
- 消灯で屋外に対して  
ダンパー全閉

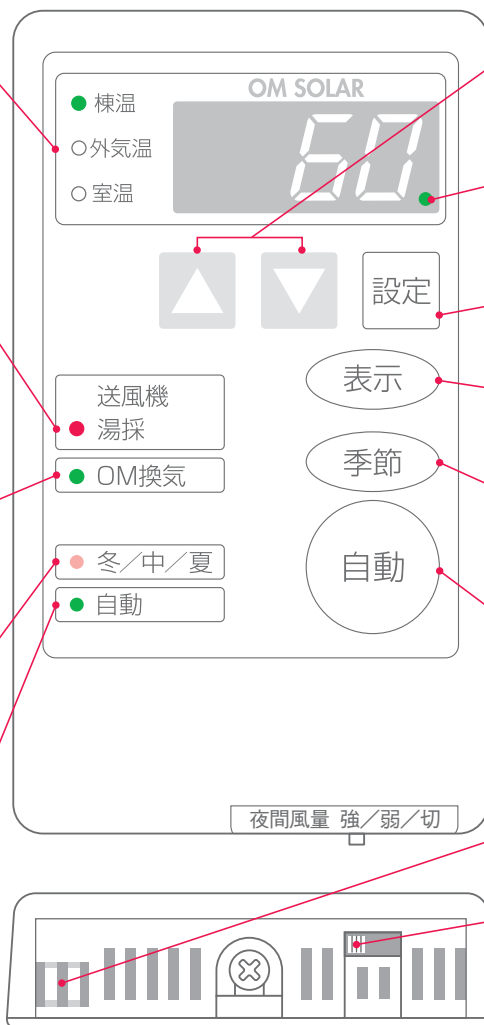
## 季節ランプ

- 「赤」冬
- 「橙」中間
- 「緑」夏

## 自動ランプ

- 「緑」点灯時は自動で季節モード  
を判断
- 消灯時は季節ボタンで季節モード  
を選択

リモコン



## 調整ボタン

設定温度の変更など  
○「△」上ボタン  
○「▽」下ボタン

## ドットLED

設定温度を確認・変更する時に  
点滅

## 設定ボタン

設定温度を見る・決定する

## 表示ボタン

表示する温度を切り替える

## 季節ボタン

手動運転時に  
季節モードの切り替え

## 自動ボタン

自動/手動の切り替え

## 内蔵の室温センサー

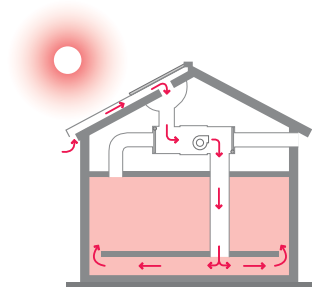
## 夜間風量切替スイッチ

非集熱時の風量設定  
夏の夜の外気取込、  
室内循環暖房時に有効

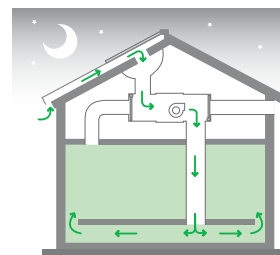
# OMソーラーの運転パターン

3つの表示ランプで運転パターンが見分けられます。

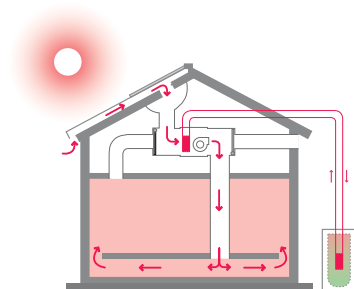
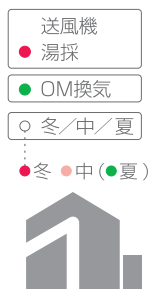
## 集熱取り込み



## 夏の夜の外気取込



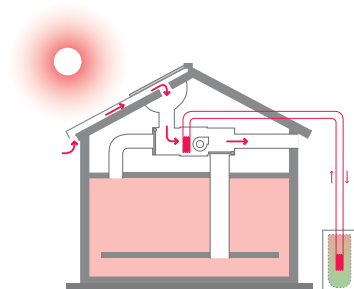
## 集熱お湯採り



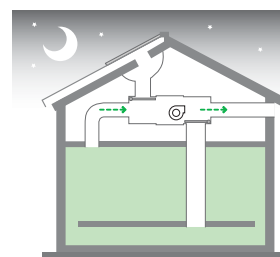
## 運転停止（全閉）



## 排気お湯採り



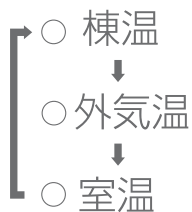
## 運転停止（換気）



# 温度表示の切替

## 温度表示の切替

【表示 ボタン】を押すと、温度表示が切り替わります。順番は、

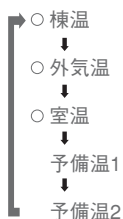


### ◎予備の温度表示について

例えば、貯湯槽の温度を表示させたい場合、センサーを追加することでその温度も表示させることができます。

予備温度表示は、2つまで設定できます。予備温度表示時には、温度ランプは点灯しません。予備温度を表示させるためには、制御ユニット内のディップスイッチの設定を変更する必要があります。

※温度表示範囲は、-15~145℃



## 最高・最低温度の表示

「棟温」「外気温」「室温」の最高値・最低値を表示できます。

### 最高温度の表示手順

【表示 ボタン】で、表示させたい温度表示を選択し、▲を1秒押すと、「温度ランプ」がゆっくりと点滅し、最近の最高気温を表示します。▼を押すと、通常の温度表示モードに戻ります。

### 最低温度の表示手順

【表示 ボタン】で、表示させたい温度表示を選択し、▼を1秒押すと、「温度ランプ」がゆっくりと点滅し、最近の最低温度を表示します。▲を押すと、通常の温度表示モードに戻ります。

### メモリーをクリアする手順

クリアする最高・最低気温を表示中に、【設定 ボタン】を1秒押すと、記憶がクリアされ、温度表示に戻ります。クリアは表示している温度のみに有効です。



# 自動運転と手動運転について

OMソーラーは、パッシブシステムであり、季節や天候によって季節モードを設定する必要があります。自立運転型ハンドリングには、そうした設定を四季を通じて自動で行うか、季節ごとに手動で設定するかをリモコンで選択することができます。

## 自動運転

自動を選択すると季節判断をアシストします。詳しくはP9▶

こんな場合は、このモード

- 例1 引越をしたばかりで、忙しいのでとりあえずお任せ運転。
- 例2 大まかで良いので日々の季節モードの切替を任せる。  
※前線通過時など、天候により季節判断が適当でない場合があります。

## 手動運転

季節モード（冬・中間・夏）を選択したり、集熱開始温度や集熱風量などの設定を幅広く設定できます。詳しくはP11▶

こんな場合は、このモード

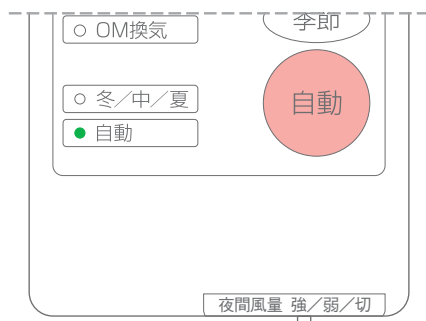
- 例1 できるだけ冬の集熱による暖房量、換気量を増やしたい。  
冬／設定棟温25℃／目標棟温30℃
- 例2 梅雨時の晴れ間に集熱取り込みで床下換気したい。  
中間／設定室温23℃／設定棟温35℃

（なお設定室温は適宜調整してください）

# 自動運転の設定

外気温で季節モードの自動判断、棟温で集熱、室温でハンドリングの運転パターンを切り替えます。  
自動運転は、ひとつの設定により、年間通して、室内へ採り込む太陽熱を調節するようにプログラムされています。

ひとつの設定である“設定室温レベル (±5)”は、  
室温を高くするように運転したいときはプラスに、低めに抑えたいときはマイナスに、操作してください。  
なお、室温を何度、と意識して運転されたい方は手動運転をお勧めします。



## 自動運転にする

- 1 【自動 ボタン】を押して「自動ランプ」を点灯させます。

## 設定室温レベルを確認・変更する

- 1 「自動ランプ」点灯時に、【表示 ボタン】を押して「室温ランプ」を点灯させます。
- 2 【設定 ボタン】を押すと「ドットLED」がゆっくり点滅し、設定室温レベルを表示します。
- 3 設定値を変更したい場合は、【調整ボタン (▲ or ▼)】を押すと「ドットLED」が速めに点滅し、変更モードに入ります。▲で高い方へ▼で低い方へ設定値を変更します。
- 4 【設定 ボタン】を押すと設定値が変更され、室温表示に戻ります。

◎操作されない時間が60秒経過すると元の室温表示に戻ります。

◎設定内容は、停電時でも保持されます。

設定室温レベルの調整は±5段階です。冬・中間・夏ともに共通の設定レベルで働きます。

例：設定室温レベル±0（初期値）のときの運転パターン

設定室温 レベル	冬		中間		夏		夏夜	
	℃	運転パターン	℃	運転パターン	℃	運転パターン	℃	運転パターン
▲ +5 +4 +3 +2 +1	33	室温28℃以上で 排気お湯採り 	30.5	室温23℃以上で 排気お湯採り 	33	排気お湯採り 	33	室温23℃まで 外気取込  <small>※棟温が(室温+2℃)以下、 外気温が(室温-1℃) 以下の条件が必要です。</small>
	32		29		31		31	
	31		27.5		29		29	
	30		26		27		27	
	29		24.5		25		25	
初期値 ±0	28	23	23	23	23	23	23	
▼ -1 -2 -3 -4 -5	27	室温27℃以下で 集熱お湯採り  <small>※±0のとき室温が17℃ 以下になるとお湯採りは停止します。</small>	21.5	室温22℃以下で 集熱お湯採り  <small>※±0のとき室温が12℃ 以下になるとお湯採りは停止します。</small>	21	※±0のとき室温が12℃ 以下になると集熱お湯採りになります。	21	室温22℃以下で 運転停止（換気） 
	26		20		19		19	
	25		18.5		17		17	
	24		17		15		15	
	23		15.5		13		13	

※冬の運転停止時はダンパーが全閉 の状態になります。（ディップスイッチにより中間・夏でも選択可能）

※中間・夏の運転停止時はダンパーが換気 の状態になります。

### こんな風にプログラムされています

冬

朝方、集熱が始まりそうとき、外気温が13℃以下で冬になります。  
暖房感が得られそうな温風温度（棟温度30℃以上〔固定値〕）で集熱運転が始まります。  
集熱した空気を取り込まれ、室内が暖房感がまあまあ満足される温度（室温18℃以上〔初期値〕）になったら、お湯採りを開始します。  
室内が窓を開けたいくなる様ながまんできない暑さ（室温28℃以上〔初期値〕）になったら排気します。できるだけ蓄熱コンクリートを温めるためです。

中間

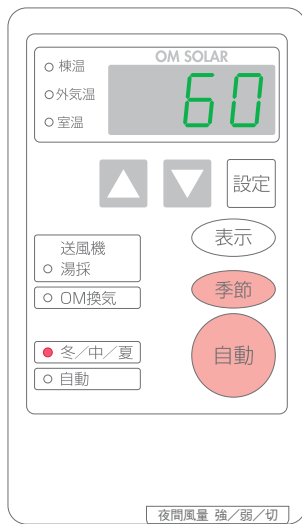
朝方、集熱が始まりそうとき、外気温が14℃～20℃で中間になります。  
まだ陽が残る夕暮れ頃の棟温（棟温度35℃以上〔固定値〕）で集熱運転します。  
室内が寒すぎない限り（室温13℃以上〔初期値〕）、終日お湯採りを行います。  
室内が窓を開けて気持ち良い温度（室温23℃以上〔初期値〕）になったら排気運転に切り替わります。

夏

朝方、集熱が始まりそうとき、外気温が21℃以上で夏になります。  
まだ陽が残る夕暮れ頃の棟温（棟温度40℃以上〔固定値〕）で集熱運転します。  
日中は熱を室内に入れない排気運転です。室内低温防止の安全として12℃以下で集熱お湯採りになります。  
夜は棟温度がある程度下がり（室温+2℃以下）、室内より外の方が涼しくなったら（室内-1℃以下）外気を取込みます。  
もし涼しくなりすぎたら（室温22℃以下〔初期値〕）取込を停止します。

# 手動運転の設定

手動で季節モードや設定温度を選択し、設定を固定して運転することができます。  
季節や気候の変化と応答したり、OMシステムの動きを楽しみたい方には、手動運転をお勧めします。



## 季節モードを変更する

3つの季節モード（冬・中間・夏）が選択できます。暖房を必要とするときは冬を、朝方など少し冷えるときは中間を、夜に外気取込したいときは夏を選択します。

- 1 【自動】ボタンを押して自動運転を解除（「自動ランプ」消灯）して手動運転の状態にします。
- 2 【季節】ボタンを押すと冬●（赤）／中間●（橙）／夏●（緑）の順で切り替わります。

## 設定室温を確認・変更する

季節モードごとに設定室温を10～35℃の範囲で設定できます。  
希望する室温を設定します。  
初期値：冬・中間・夏ともに23℃

- 1 【表示】ボタンを押して「室温ランプ」を点灯させます。
- 2 【設定】ボタンを押すと「ドットLED」がゆっくり点滅し、設定室温を表示します。
- 3 設定値を変更したい場合は【調整ボタン（▲ or ▼）】を押すと「ドットLED」が速めに点滅し、変更モードに入ります。▲で高い方へ ▼で低い方へ設定値を変更します。
- 4 【設定】ボタンを押すと設定値が変更され、室温表示に戻ります。

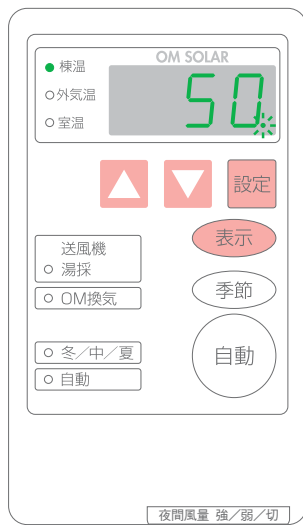


## 設定棟温を確認・変更する

季節モードごとに設定棟温を10～45℃の範囲で設定できます。集熱運転を開始する棟温の設定値です。

初期値：冬30℃、中間35℃、夏40℃

- 1 【表示 ボタン】を押して「棟温ランプ」を点灯させます。
- 2 【設定 ボタン】を押すと「ドットLED」がゆっくり点滅し、設定棟温を表示します。
- 3 設定値を変更したい場合は【調整ボタン（▲ or ▼）】を押すと「ドットLED」が速めに点滅し、変更モードに入ります。▲で高い方へ ▼で低い方へ設定値を変更します。
- 4 【設定 ボタン】を押すと設定値が変更され、棟温表示に戻ります。



## 目標棟温を確認・変更する

季節モードごとに目標棟温を10～70℃の範囲で設定できます。

日射量が少ないときに、目標棟温以下でファンの風量を絞り込むことにより、棟温を目標棟温に持ち上げようとする設定値です。

初期値：冬50℃、中間55℃、夏65℃





- 1 【表示 ボタン】を押して「棟温ランプ」を点灯させます。
- 2 【設定 ボタン】を2回押すとドットLEDがゆっくり点滅し、目標棟温を表示します。（1回目の表示は設定棟温です。）
- 3 設定値を変更したい場合は【調整ボタン（▲ or ▼）】を押すと「ドットLED」が速めに点滅し、変更モードに入ります。▲で高い方へ ▼で低い方へ設定値を変更します。
- 4 【設定 ボタン】を押すと設定値が変更され、棟温表示に戻ります。





# 手動運転時の設定温度と運転パターン




設定棟温と設定室温が幅広く設定できます。

関連する冷暖房、換気設備などの運転調整、結露・乾燥などの発生に留意して設定を行ってください。

なお、設定棟温は初期値より下げていくと、太陽電池の発電力ではなく、商用電力を消費する時間が長くなります。

冬			
設定棟温		設定室温	
℃	運転/停止	℃	運転パターン
45	 棟温30℃以上で 集熱運転	35	室温23℃以上で 集熱お湯採り 
30 初期値		23 初期値	室温22℃以下で 集熱取り込み 
10	 棟温29℃以下で 運転停止(全閉)	10	

中間			
設定棟温		設定室温	
℃	運転/停止	℃	運転パターン
45	 棟温35℃以上で 集熱運転	35	室温23℃以上で 排気お湯採り 
35 初期値		23 初期値	室温22℃以下で 集熱お湯採り 
10	 棟温34℃以下で 運転停止(換気)	10	※室温が12℃以下になると お湯採りは停止します。

夏			
設定棟温		設定室温	
℃	運転/停止	℃	運転パターン
45	 棟温40℃以上で 集熱運転	35	排気お湯採り 
40 初期値		23 初期値	
10	 棟温39℃以下で 運転停止(換気)	10	

設定室温	
℃	運転/停止
35	室温23℃まで 外気取込 
23 初期値	※棟温が(室温+2℃)以下、 外気温が(室温-1℃) 以下の条件が必要です。
10	 室温22℃以下で 運転停止(換気)

# 夜間風量切替スイッチについて

夜間風量切替スイッチにより夜間（非集熱時）に運転する風量を「強・弱・切」で設定することができます。

## 夜間風量切替スイッチが利用できる運転

- ・夏の夜の外気取込
- ・補助暖房運転 ※1
- ・室内循環運転 ※2
- ・室内排気運転 ※2

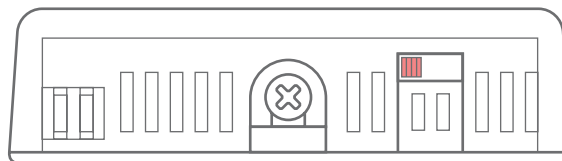
※1 OMと連動する補助暖房を設置している場合のみ（P15参照）

※2 室内循環運転、室内排気運転用のスイッチを設置している場合のみ  
（P16参照）

## 風量の目安

スイッチ	風量
強	90～70%
弱	50～35%
切	停止

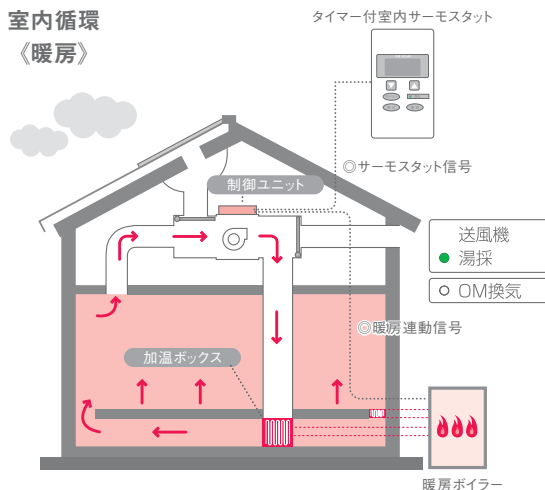
ハンドリングの音が大きくて気になる時は「弱」にしてください。また、「切」にすると夜間風量切替スイッチが利用できる運転は働きません。



# 補助暖房（オプション）

OMと連動する暖房ボイラーとタイマー付室内サーモスタットを追加することでOMのシステムを利用して暖房することができます。

## 室内循環 《暖房》



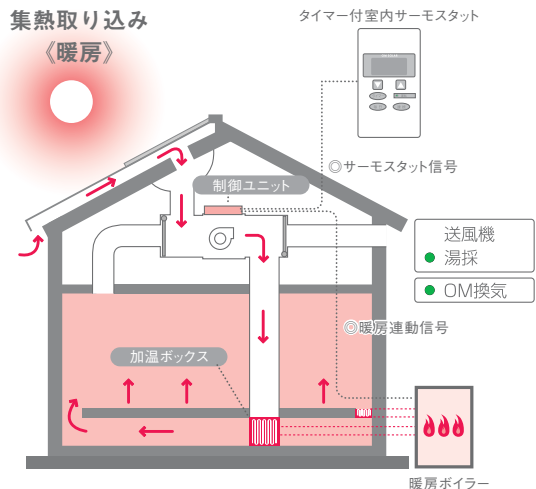
## 室内循環暖房

非集熱時に、タイマー付室内サーモスタットがONのときは、ハンドリングが室内循環で運転し、暖房ボイラーに暖房信号を送ります。暖房信号を受けた暖房ボイラーが作動して加温ボックスなど暖房コイルに温水を送り、循環空気を温めます。

◎循環風量はリモコンの夜間風量（強・弱・切）で設定します。風量の多い“強”の方が暖房能力も高くなります。騒音が気にならない限り“強”に設定してください。

◎夜間風量切替スイッチを“切”にすると、室内循環運転、暖房ボイラーとの連動が切れます。

## 集熱取り込み 《暖房》



## 集熱取り込み暖房

集熱時に、タイマー付室内サーモスタットがONのときは、集熱取り込みしながら、暖房ボイラーに暖房信号を送ります。暖房ボイラーからの温水により集熱取り込み空気はさらに加熱されます。

◎この場合の集熱取り込み風量は、集熱優先で制御され、特に増えたりしません。暖房に必要な風量として不足する場合があります。

◎設定棟温、目標棟温を低め、設定室温を高めに設定しておくとも曇天時など棟温が低いときでも集熱風量が比較的多くなり、集熱暖房の能力が高まります。

例えば 手動運転・冬/設定棟温25~30℃、目標棟温25℃、設定室温28℃

◎夜間風量切替スイッチを“切”にすると、室内循環運転、暖房ボイラーとの連動が切れます。

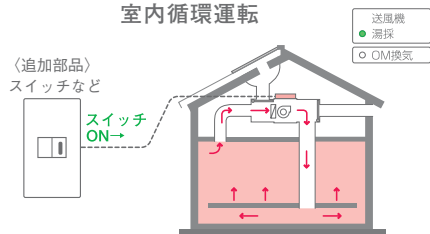
◎タイマー付室内サーモスタットの操作については別途、操作説明書をご覧ください。

◎リモコンとタイマー付室内サーモスタットが示す室温を比べたとき、差がある場合があります。



# 追加機能いろいろ（オプション）

## 室内循環運転



## 室内循環運転

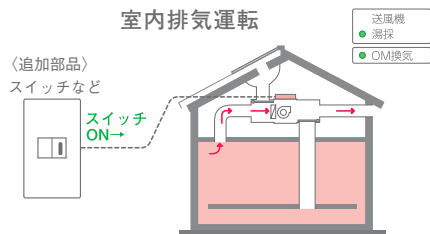
ハンドリングが“室内循環”で運転します。用途例は、

- ・補助暖房（P15参照）
- ・暖炉などで高いところの暖気を循環
- ・少数の冷暖房機の空気を家全体に回す

※集熱運転中は機能しません。

❗ 油分・水蒸気・溶剤などハンドリング部分を汚すものを吸い込ませない様に注意してください。

## 室内排気運転



## 室内排気運転

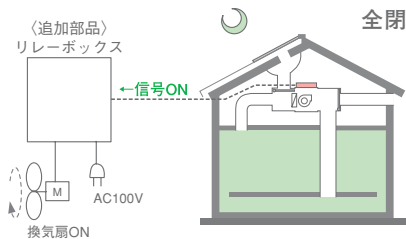
ハンドリングが“室内排気”で運転します。用途例は、

- ・夏の夜の外気取込に代えて室内排気で運転  
（夏夜に棟温が下がりにくい場合、日中に不在が多く熱気がこもる場合など）

※集熱運転中、室内循環運転中は機能しません。

❗ 油分・水蒸気・溶剤などハンドリング部分を汚すものを吸い込ませない様に注意してください。

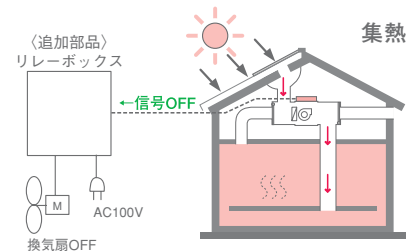
## 全閉停止



## 別付け換気装置と連動運転

制御ユニットには、24時間換気向け連動端子を用意しています。例えば、換気用連動端子を利用して、ハンドリングで換気していないときに、連動換気扇を運転することができます。

## 集熱取込



# 異常表示について

## リモコンの異常表示と内容

異常表示	判定条件	制御ユニットとリモコンの通信異常
<b>E01</b> 通信異常	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	外気温0℃以上&棟温-15℃未満(1分継続)
<b>E02</b> 棟温センサー断線	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	ファン運転5分経過&棟温145℃以上(1分継続)
<b>E03</b> 棟温センサーショート	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	外気温0℃以上&室温-15℃未満(1分継続)
<b>E04</b> 室温センサー断線	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	室温60℃以上(1分継続)
<b>E05</b> 室温センサーショート	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	ファン運転&棟温60℃以上&外気温-15℃以下(15分継続)
<b>E06</b> 外気温センサー断線	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	外気温60℃以上(1分継続)
<b>E07</b> 外気温センサーショート	対処方法	リセットを試してください。 改善されない場合はオールリセットを行ってください。 オールリセットを行っても改善されない場合は 施工工務店に連絡してください。

異常表示	判定条件	ファン運転&棟温110℃以上(10分継続) 棟温80℃以下で運転は自動復帰
<b>EHH</b> 棟温異常	対処方法	ハンドリングの風量の低下が考えられます。ハンドリングのお湯探りコイルがホコリで目詰りしていないか確かめましょう。目安として7~15年以上の場合は、ファンモーターの寿命も考えられます。

異常表示	判定条件	ファンモーターの高温or過負荷
<b>EFF</b> ファンモーター異常	対処方法	ハンドリングの風量の低下が考えられます。ハンドリングのお湯探りコイルがホコリで目詰りしていないか確かめましょう。目安として7~15年以上の場合は、ファンモーターの寿命も考えられます。

異常表示	判定条件	制御ユニットのディップスイッチで試運転ON
<b>PPP</b> 試運転中	対処方法	もし点検以外の時にPPPが点灯しているときは、施工工務店に連絡をして、試運転スイッチをOFFにしましょう。

\*予備温度センサーは異常表示機能がありません

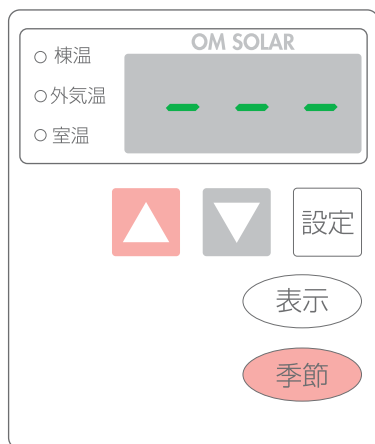
# リセット



## 異常表示のリセット

- 1 ▼ + 【表示 ボタン】を同時に3秒間押します。  
異常表示が消え、通常が表示に戻ります。

◎異常の原因が解決されてないときは、異常表示のリセットをしても異常表示が継続されます。異常内容によっては、判定条件の継続時間が異なります。



## オールリセット

オールリセットは工場出荷時設定に戻す時や、リモコンの動きに異常を感じた時に使います。

- 1 ▲ + 【季節 ボタン】を同時に3秒間押します。  
オールリセットされると、「温度表示パネル」で“---”を表示し、工場出荷時のソフト状態で運転を再開します。

◎オールリセットにより、自動運転、中間、各設定温度は初期値になり、最高・最低温度はクリアされます。

※リセットしても、続けて異常表示される場合には、施工工務店までご連絡ください。

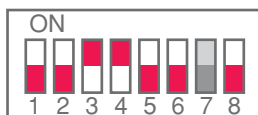
# 故障かな？と思ったら

症状	ここを確認してください	関連ページ
自動による 季節判断がおかしい	自動の季節判断は、比較的きれいな晴天日における外気温の変動を想定してプログラムされています。曇天日や雨天時には、自動の季節判断が実際の季節とずれることがあります。季節モードを適切にしたい場合は、手動運転にして季節モードを変更してください。	8
自動／(冬・中間)のとき、 室内が暑すぎる	設定室温レベルが高いかもしれません。設定室温レベルを確認してください。設定室温レベルを低くすれば、より低い室温で排気に切り替わります。ただし、設定室温レベルを下げると、蓄熱コンクリートの温まり具合が少なくなります。	9
自動／(冬・中間)のとき、 室内が寒い	設定室温レベルが低すぎませんか。設定室温レベルを確認してください。設定室温レベルを高くすれば、より高い室温まで室内に集熱を取り込みます。	9
自動／夏のとき、 夜になっても 外気取込で動き始めない	まだ、棟温と外気温が高いかもしれません。夏の夜の外気取込の開始条件:棟温が室温+2℃より低いこと、かつ、外気温が(室温-1℃)より低いこと、がそろっているか確認してください。	10
	設定室温レベルが高くなっていませんか。例えば、±0=室温23℃以下で停止、+5=室温33℃以下で停止、になります。	9
	夜間風量切替スイッチが「切」になっていませんか。運転したい時は【強・弱】に切り替えます。	14
集熱でないのに 送風機ランプが点灯し、 ハンドリングが動いている	季節モード=【冬・中間】&OM換気ランプ=消灯、であれば、室内循環(暖房)モードで運転しています。強制的に止めたいときは、リモコンの夜間風量切替スイッチを「切」にしてください。	6,14
	季節モード=夏&OM換気ランプ=点灯、であれば、夏の外気取込モードで運転しています。強制的に止めたいときは、リモコンの夜間風量切替スイッチを「切」にしてください。	6,14
ハンドリングが止まっているのに、 OM換気ランプが点灯している	季節モード=【中間・夏】では、換気停止(室内から排気に空気が抜けるダンパー状態)により、自然換気や室内の熱気抜きを促す設定になっています。全閉停止にしたいときは、リモコン内部のディップスイッチの操作で変更できます。	6,20
お湯採りができない	季節モード=【冬・中間】で、自動/設定室温レベルまたは手動/設定室温が高くなっていませんか。	9,11
	OM側でお湯採り信号を送っている(赤ランプ点灯)状態でも貯湯槽側で集熱温度とタンクの水温が7~9℃以上の温度差がないと、貯湯槽側のポンプは運転しません。	6
お湯採りが止まらない	自動のときは、比較のお湯採りを運転するように設定されています。自動/設定室温レベルまたは手動/設定室温の内容をご確認ください。どうしてもお湯採りを止めたいときは、冬であれば手動/冬を選択して設定室温を高め設定してください。凍結の心配がない季節であれば、貯湯槽のコンセントを抜いてください。	9,11
日射がなくなると リモコンの表示が消える	コンセント(商用)電源が切れている状態です。コンセントが差し込まれているか、または、ブレーカーが切れていないかを確認してください。コンセントに100Vがきていて、症状が出ている場合は、制御ユニット内部の電源装置の故障が考えられますので、施工工務店に問い合わせてください。参考として、雷の影響で電源装置が壊れる可能性があります。	4

# ディップスイッチについて

リモコンや制御ユニットの内部ディップスイッチを変更することで、各種設定を変えることができます。  
設定の変更は、施工工務店にご相談ください。

## 制御ユニット（ハンドリング側）のディップスイッチ



No	機能	ON	OFF	備考
1	制御盤種別	特殊	標準	
2	外気温センサー	なし	接続	接続なしは自動運転用外気温＝棟温
3	予備温センサー1	なし	接続	オプション、例：お湯採り温度
4	予備温センサー2	なし	接続	オプション
5	暖房／異常出力	異常出力※	暖房出力	異常出力は施設向け機能
6	予備	-----	-----	
7	比例風量制御	OMD 12	OMD 05	下限値 OMD05:55% OMD12:40%
8	試運転	試運転	通常	試運転はリモコンに表示あり

◎工場出荷時

## リモコンのディップスイッチ



No	機能	ON	OFF	
1	停止時ダンパー	全閉停止	換気停止	
2	表示温度単位	°F	°C	
3	予備	-----	-----	
4	予備	-----	-----	

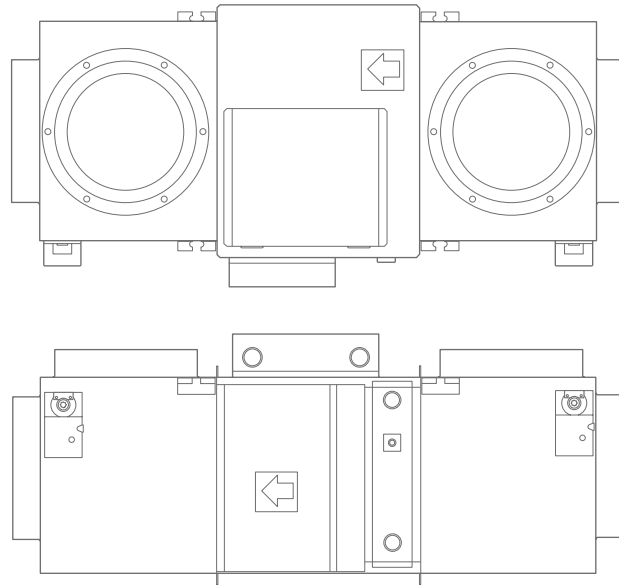
◎工場出荷時

# 自立運転型ハンドリング基本仕様

型式		小型		中型	
		OMD-05C	OMD-05N	OMD-12C	OMD-12N
熱交換コイル		あり	なし	あり	なし
寸法		450W × 450H × 989L		500W × 500H × 1,198L	
重量		28kg	25kg	43kg	39kg
最高風量		8m <sup>3</sup> /min		12m <sup>3</sup> /min	
外装		ガルバリウム鋼板 1.0t			
保温		硬質発泡断熱材 15mm			
電源		専用太陽電池もしくは商用電力 (AC100V)			
消費電力	太陽電池のみの時	55W		110W	
	商用電力のみの時	25W		60W	
使用条件	環境	場所:屋内 周囲温度:-10~45℃、相対湿度90%以下 (結露なきこと)			
	流体	集熱空気温度:90℃以下 熱交換コイル使用媒体:不凍液 (-10℃~80℃、結露なきこと)			
リモコン	寸法	70W × 120L × 25H			
	電源	DC12V (制御ユニットから供給)			
	消費電力	2W			
太陽電池	種類	多結晶系太陽電池			
	寸法	451W × 1,192L × 50H			
	重量	10.0kg			
	最大出力	55W			
	開放電圧	26V			
	短絡電流	2.95A			
	材質	枠:アルミ (黒色)、表面:強化ガラス			

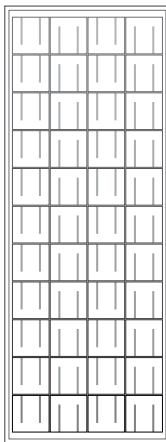
本仕様は、改善の為、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

## 自立運転型ハンドリング本体

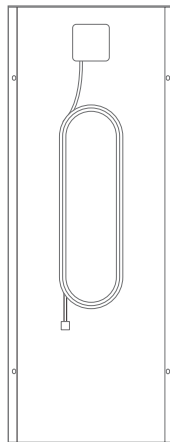


## 太陽電池

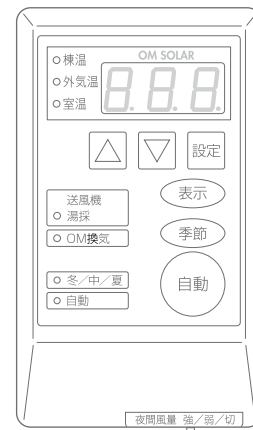
表面



裏面



## リモコン





自立運転型ハンドリング操作説明書

第2版 2005年4月1日  
発行 OMソーラー協会



OMソーラー協会

〒431-1207 静岡県浜松市村櫛町4601 TEL 053-488-1700 (代) <http://www.omsolar.co.jp/>

0527-050401-1